

第158期

日東紡 株主通信

2018年4月1日 ~ 2019年3月31日

- ◆ 株主の皆様へ
- ◆ 事業紹介
- ◆ ESGトピックス
- ◆ こんなところに日東紡!
- ◆ 財務ハイライト(連結)
- ◆ 財務諸表(連結)

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに当社グループ第158期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の業績をご報告申し上げます。

中期経営計画の2年目である第158期は、引き続き、高付加価値品の拡販に努めるとともに、将来への成長に向けた基盤強化への投資を進めました。中期経営計画の後半に差し掛かる第159期は、これまでの投資の効果を発現させてまいります。株主の皆様には引き続き倍旧のご支援とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。



取締役 代表執行役社長 辻 裕 一

◆ 第158期の業績

第158期におけるわが国経済は、個人消費や設備投資を中心とした民需に支えられ、輸出や生産の一部に弱さもみられましたが、緩やかな回復基調が続きました。また、世界経済は、全体としては緩やかな回復基調が継続していましたが、昨年後半に顕在化した米中間の貿易摩擦や中国経済の減速等から世界経済の停滞が懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

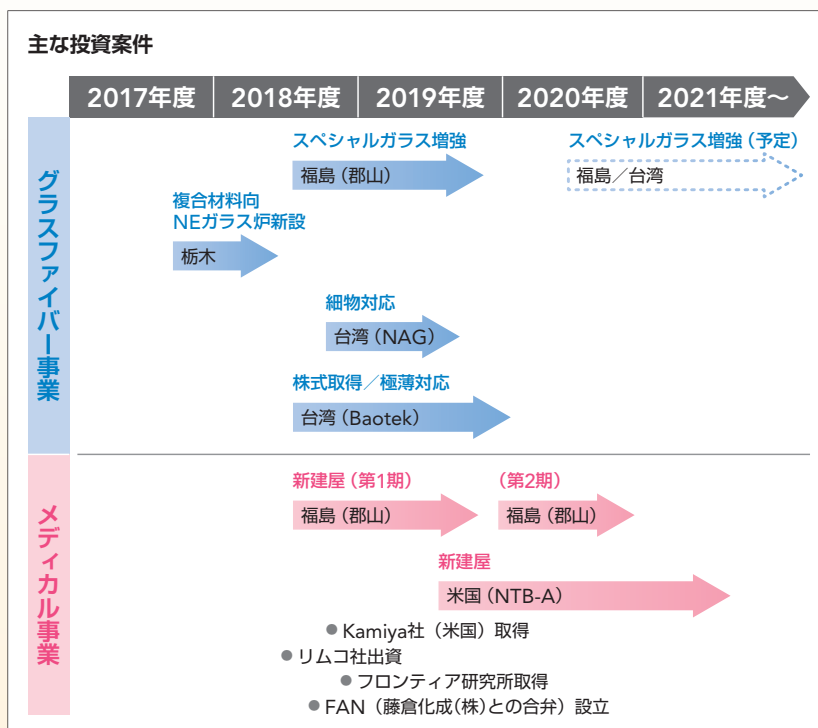
このような環境の下、当社グループは高付加価値品へのシフトを図り、生産性向上や原価低減を加速させるとともに、事業基盤の強化に取り組みました。これら施策に伴う費用の増加に加え、物価上昇に伴う原燃料価格、物流費の増加等の収益圧迫要因があり、連結売上高は82,292百万円(前期比2.6%の減収)、連結営業利益は8,198百万円(前期比24.3%の減益)、連結経常利益は8,934百万円(前期比19.3%の減益)、親会社株主に帰属する当期純利益は7,984百万円(前期比22.1%の減益)となりました。

◆ 中期経営計画《Go for Next 100》実現に向けて

中期経営計画《Go for Next 100》の2年目となる第158期は、事業基盤強化への取組みを積極的に行い、設備投資、研究開発および人材へ重点的に経営資源を投じました。設備投資については、中期経営計画の4年間で合計550億円を計画しているところ、直近2年間でM&Aを含め約500億円の意思決定を行いました。

グラスファイバー事業では、5Gを用いた高速大容量通信の実現に伴う基地局向け需要やデータセンターのサーバー向け需要の増加に対応する国内外での高付加価値品の製造能力の増強や台湾 Baotekの株式取得等を行いました。メディカル事業では、日本・アメリカの開発・生産施設の建設等に加え、アメリカでの販売強化を目的としたKamiya社の持分取得、研究開発の強化を目的としたリムコ社・フロンティア研究所の株式取得、藤倉化成(株)との合併会社設立を行いました。

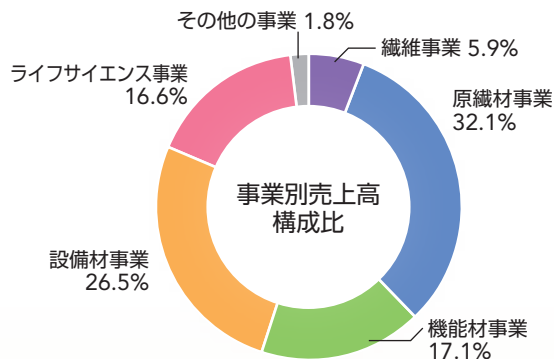
これらの施策により日東紡グループ「長期ビジョン101」達成に向けての道筋をつけ、第159期は投資効果を発現させるとともに、引き続き基盤強化、コスト競争力の強化、生産性改善を実行してまいります。



当期 事業セグメント別業績

事業セグメント別の売上構成比は右グラフの通りです。

また、当期の事業セグメント別の売上高、営業利益は以下の通りです。



繊維事業

繊維事業では、芯地製品は生産移管などにより収益性が改善しましたが、原糸製品はカジュアル衣料用途の販売が低迷しました。

	売上高	営業利益
2019年3月期 (2018.4.1~2019.3.31)	4,862	△373
2018年3月期 (2017.4.1~2018.3.31)	4,945	△452

(百万円)

原織材事業

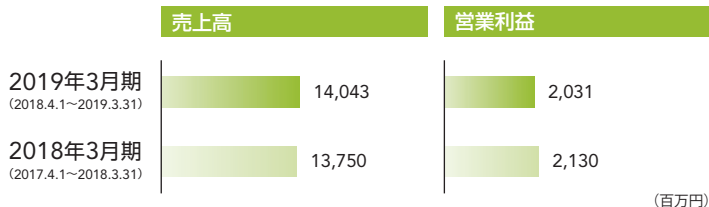
原織材事業では、スマートフォンの生産調整の影響を受け、高付加価値品を中心にガラスヤーンなどの販売が低迷しました。

	売上高	営業利益
2019年3月期 (2018.4.1~2019.3.31)	26,442	3,937
2018年3月期 (2017.4.1~2018.3.31)	29,172	6,559

(百万円)

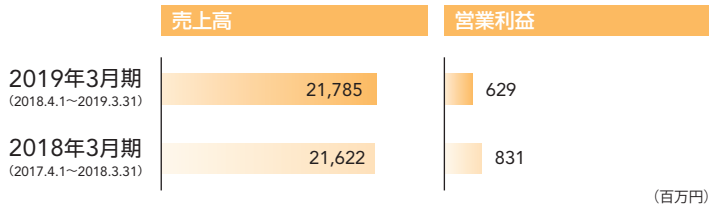
機能材事業

機能材事業では、電子材料向けスペシャルガラスの需要は堅調でしたが、日東紡澳門玻纖紡織有限公司の台風被害により収益が悪化しました。



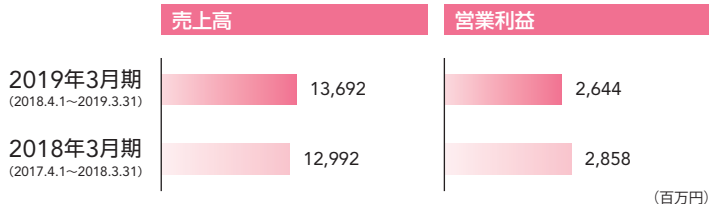
設備材事業

設備材事業では、設備・建設資材向けの販売は安定的に推移しましたが、住宅向け断熱材は大型の設備改修やコストアップの影響により収益が悪化しました。



ライフサイエンス事業

ライフサイエンス事業では、免疫系体外診断薬を中心に国内、海外向けの販売に注力するとともに原価低減に努めましたが、研究・販売体制強化に伴う費用が増加しました。



環境に配慮した製品

◆ 省エネ住宅を実現する日東紡グループの製品

パラマウント硝子工業は、冬は暖かい空気を逃さず、夏は外気の熱を防ぐ、住宅用高性能グラスウール断熱材を製造しています。高い断熱性と防湿気密性で、省エネ効果を高め、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）に最適な断熱材です。グラスウールは、リサイクルガラスを80%以上用いており、使用後も再生可能で、地球環境に優しい製品です。

※ZEHとは、「快適な室内環境」と「年間で消費する住宅のエネルギー量が正味で概ねゼロ以下」を同時に実現する住宅



(図：経済産業省 資源エネルギー庁 ZEH より)

住宅の高断熱外皮に使用される
パラマウント硝子工業の商品



ZEH
普及に向けた
政府の目標

- エネルギー基本計画 「2030年までに新築住宅の平均でZEHの実現を目指す」とする政策目標を設定。
- 地球温暖化対策計画 2020年までにハウスメーカー等が新築する注文戸建住宅の半数以上をZEHにすることを旨とする。
- 未来投資戦略2017 2020年の新築住宅の省エネ基準適合率を100%とし、ハウスメーカー等の新築注文戸建住宅の過半数をネット・ゼロ・エネルギー・ハウス化することを位置付け。

パラマウント硝子工業はグラスウール断熱材で地球環境に貢献します

パラマウントのメインブランドは一般社団法人 環境共創イニシアチブが発行するZEHマークを取得しています。さらに断熱性能を求められるユーザーに向けた製品の発売、開発も進めています。



事業を通じた社会貢献

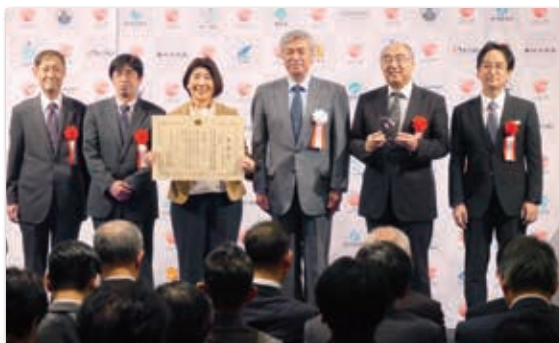
◆ ニットーボーメディカル（NMD）が 「日本オープンイノベーション大賞選考委員会特別賞」を受賞

2019年2月5日、NMDが国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構とともに推進してきた「遺伝子組換えカイコによる新産業創出プラットフォームの構築」が、「第1回 日本オープンイノベーション大賞」において「日本オープンイノベーション大賞選考委員会特別賞」を受賞しました。

「日本オープンイノベーション大賞」は、研究開発の成果を社会的ニーズの解決や新たな価値の創造につなげ、組織の壁を越えて知識や技術、経営資源を組み合わせたオープンイノベーションを推進するために、今後のロールモデルとして期待される先導性や独創性の高い取組みを称えるものです。今回受賞した「選考委員会特別賞」は、選考委員会の審査において、顕著な取組み等が認められた個人または団体に対して授与される賞です。

すでに本プロジェクトを通じて骨粗鬆症の体外診断薬（TRACP-5b）等の上市に成功し、主要な検査機関で採用されています。

昨年8月にはリムコ社とも資本提携を行い、今後もカイコを用いた体外診断医薬品の分野での技術力を高めていき、新製品の開発を進めていきます。



暮らしと社会を支える 縁の下のチカラ持ち。

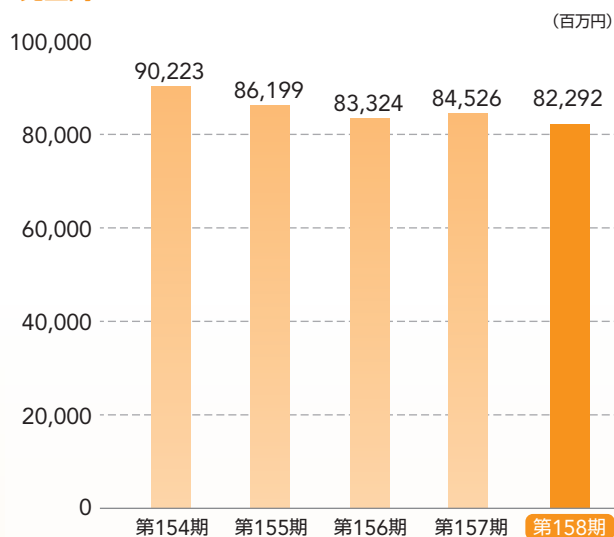
毎日使う身近なものから産業インフラまで、
日東紡グループの製品は、
街中の至るところで使用されています。
生活をもっと便利にするために。
安心をもっと強固にするために。
日東紡グループの製品は、今日も見えないところで
皆さまの暮らしと社会をチカラ強く支えています。

- 繊維事業
- 原織材事業
- 機能材事業
- 設備材事業
- ライフサイエンス事業

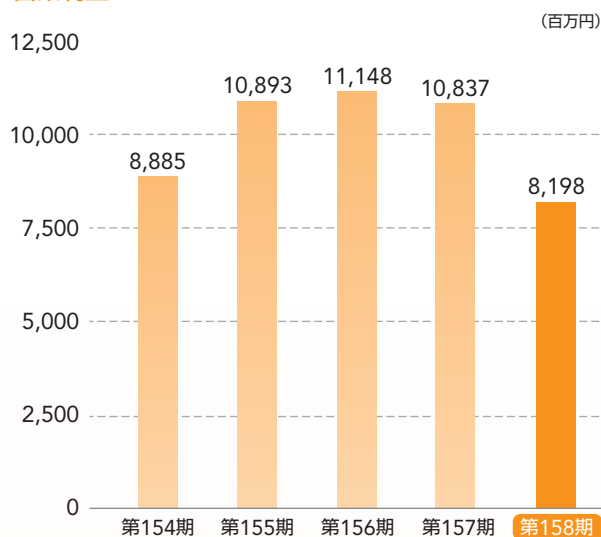




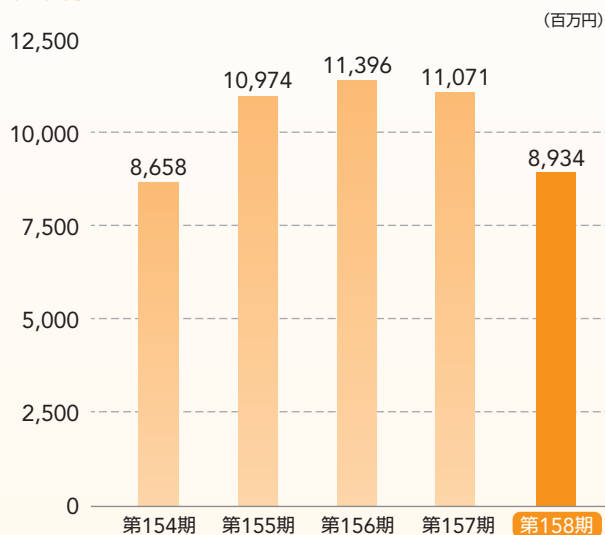
売上高



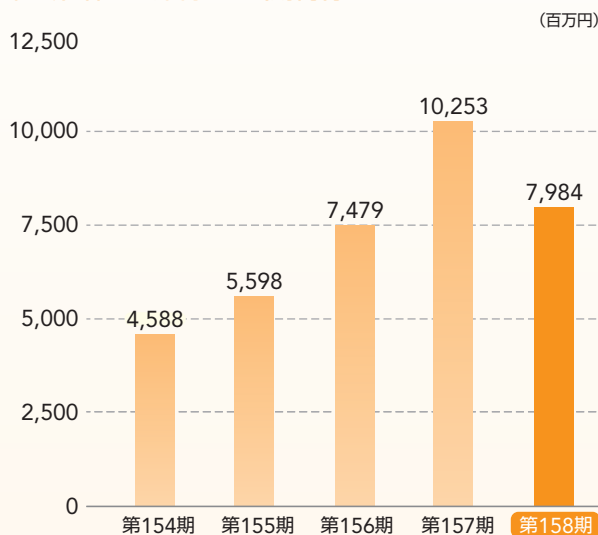
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



連結貸借対照表（要旨）

（百万円）

科 目	当期末 2019年3月31日	前期末 2018年3月31日
(資産の部)		
流動資産	72,674	73,065
現金及び預金	16,145	18,673
受取手形及び売掛金	25,353	25,891
たな卸資産	28,586	25,120
その他	2,588	3,380
固定資産	78,326	74,095
有形固定資産	47,523	42,693
建物及び構築物	12,246	12,332
機械装置及び運搬具	13,400	10,097
土地	12,595	14,748
その他	9,280	5,514
無形固定資産	1,680	1,510
投資その他の資産	29,122	29,890
投資有価証券	24,757	25,698
その他	4,364	4,192
資産合計	151,000	147,160

（百万円）

科 目	当期末 2019年3月31日	前期末 2018年3月31日
(負債の部)		
流動負債	32,066	32,726
支払手形及び買掛金	9,415	9,331
短期借入金・ 1年内返済予定の長期借入金	12,998	10,274
その他	9,652	13,120
固定負債	28,193	26,886
長期借入金	9,696	6,383
退職給付に係る負債	9,805	10,371
その他	8,691	10,131
負債合計	60,259	59,612
(純資産の部)		
株主資本	87,633	81,304
資本金	19,699	19,699
資本剰余金	19,037	19,037
利益剰余金	51,440	45,105
自己株式	△2,544	△2,538
その他の包括利益累計額	2,079	5,324
その他有価証券評価差額金	3,542	6,068
為替換算調整勘定	429	1,197
退職給付に係る調整累計額	△1,892	△1,941
非支配株主持分	1,027	919
純資産合計	90,740	87,548
負債純資産合計	151,000	147,160

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当連結会計年度の期首から適用しており、前連結会計年度に係る連結貸借対照表（要旨）については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

連結損益計算書（要旨）

(百万円)

科 目	当期	前期
	2018年4月1日～ 2019年3月31日	2017年4月1日～ 2018年3月31日
売上高	82,292	84,526
売上原価	54,632	54,312
売上総利益	27,660	30,214
販売費及び一般管理費	19,461	19,376
営業利益	8,198	10,837
営業外収益	1,454	1,031
営業外費用	718	797
経常利益	8,934	11,071
特別利益	2,779	4,792
特別損失	1,883	1,379
税金等調整前当期純利益	9,830	14,484
法人税等	1,812	4,195
当期純利益	8,017	10,289
非支配株主に帰属する当期純利益	33	35
親会社株主に帰属する当期純利益	7,984	10,253

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(百万円)

科 目	当期	前期
	2018年4月1日～ 2019年3月31日	2017年4月1日～ 2018年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,317	7,791
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,389	2,524
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,948	△9,467
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55	47
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,178	895
現金及び現金同等物の期首残高	18,324	17,428
現金及び現金同等物の期末残高	16,145	18,324

▶ 企業詳細

社名	日東紡（登記名：日東紡績株式会社）
本店所在地	福島市郷野目字東1番地
本部所在地	〒102-8489 東京都千代田区麹町二丁目4番地1
創業年月日	明治31年2月 郡山絹糸紡績株式会社（郡山）設立 大正7年4月 福島精練製糸株式会社（福島）設立 大正12年4月 日東紡績株式会社創立
資本金	196億円
従業員	820名（2019年3月31日現在）
ホームページ	https://www.nittobo.co.jp

▶ 主な営業所・工場・研究所等

大阪支店	〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-3-10 （日生伏見町ビル新館）
名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦2-14-21 （円山ニッセイビル）
福島工場	〒960-8581 福島市郷野目字東1
富久山事業センター	〒963-8061 郡山市富久山町福原字塩島1
新潟事業センター	〒950-0065 新潟市東区東新町6-50
泊事業センター	〒939-0744 富山県下新川郡朝日町平柳500
伊丹生産センター	〒664-8501 伊丹市桑津1-6-1
ファイバー研究開発センター	（福島工場内）
メディカル研究開発センター	（富久山事業センター内）

▶ 連結子会社

（2019年3月31日現在）

（株）日東紡インターライニング	ニットポー新潟（株）
日東紡（中国）有限公司	富士ファイバーグラス（株）
日東グラスファイバー工業（株）	NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd.
日東グラステックス（株）	（株）双洋
日東紡澳門玻纖紡織有限公司	パラマウント硝子工業（株）
（株）日東紡テクノ	ニットポーメディカル（株）
ニットービバレッジ（株）	日東紡エコロジー（株）
Nittobo America Inc.	

その他7社

▶ 取締役

（2019年6月26日現在）

取 締 役	辻 裕 一
取 締 役	西 坂 豊 志
取 締 役	野 崎 有
社 外 取 締 役	濱 邦 久
社 外 取 締 役	上 林 博
社 外 取 締 役	尾 内 正 道

▶ 執行役

（2019年6月26日現在）

代 表 執 行 役 社 長	辻 裕 一*
専 務 執 行 役	戸 田 数 久
常 務 執 行 役	野 崎 有*
常 務 執 行 役	竹 内 実
常 務 執 行 役	前 山 茂
執 行 役	五十嵐 和 彦
執 行 役	宇 津 木 和 之
執 行 役	多 田 弘 行
執 行 役	石 原 英 幹
執 行 役	畑 中 英 之

※は取締役兼務

▶ 技 監

（2019年6月26日現在）

技 監	今 野 敏 裕
-----	---------

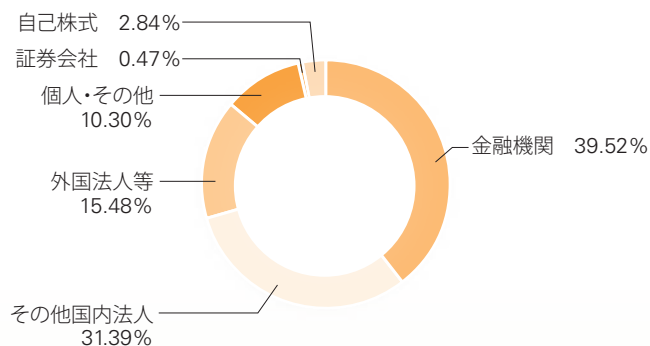
▶ 株式の状況

(2019年3月31日現在)

発行済株式総数	39,935,512株
株主数	10,939名

▶ 所有者別分布状況

(2019年3月31日現在)



▶ 大株主

(2019年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,772	7.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,429	6.26
住友不動産株式会社	2,383	6.14
日本生命保険相互会社	1,614	4.16
第一生命保険株式会社	1,316	3.39
ユニゾホールディングス株式会社	1,113	2.87
住友生命保険相互会社	1,082	2.79
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,008	2.60
エア・ウォーター株式会社	997	2.57
セントラル硝子株式会社	948	2.44

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告をして定めます。
公告方法	当社のホームページ (https://www.nittobo.co.jp/) に掲載します。 ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
証券コード	3110
単元株式数	100株
上場取引所	株式会社東京証券取引所
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

▶ 株式事務に関するご案内

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先 電話お問合せ先	お取引の証券会社等になります。	株主名簿管理人 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝休日を除く9:00~17:00)
各種手続きお取扱店 (住所変更および株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券株式会社 本店、全国各支店およびプラネットブース (株式会社みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 *トラストラウンジ(ご相談専用窓口)では、 お取扱できません。
未払い配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社並びに株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券株式会社では、取次のみとなります。)	
ご注意	支払明細発行については、右の「証券会社等に 口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)」の 郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続きお 取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式以外の売却を行う ことはできません。また、単元株式を売却する には、証券会社にお取引口座を開設し、特別口 座から株式を振り替えるお手続きが必要です。

日東紡績株式会社

〒102-8489 東京都千代田区麹町二丁目4番地1 (本部所在地)